

# ひふみ

## ANW

ひふみプラス

追加型投信 / 内外 / 株式



● お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



商号：株式会社あおぞら銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

● 設定・運用は



商号：レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

公式 YouTube

マーケットの振り返りや  
今後の見通し等配信しています。



※これより先はYouTube  
のサイトになります



※これより先はLINE  
のサイトになります

ひふみLINE公式アカウント

月次レポートなど、ひふみの  
最新情報を配信しています。

ひふみプラスをお申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



## 投資は素敵な経済活動

「投資」というと、少し縁遠いもの、専門家たちが行なう難しいものと思われがちかもしれませんが、私たちは「投資に囲まれて生きている」のです。住んでいる家や働いているビル、読んでいる本、今着ている服、通勤で使う駅や電車……すべて誰かが投資をしたおかげで、その商品やサービスが生まれています。投資とは、短期的に売り買いを重ねるようなギャンブルとは本来、無縁のものなのです。

日本には、世界には、応援したくなる会社がいっぱいあります。そうした会社は時間の経過とともに世の中から認められて、株価も上昇していきます。

ひふみプラスは多くの個人のお客様の少しずつのお金が集まって成り立っていますが、投資先の会社が成長すればファンドも成長していきます。結果、ひふみプラスのお客様にリターンとして還元することができるわけです。

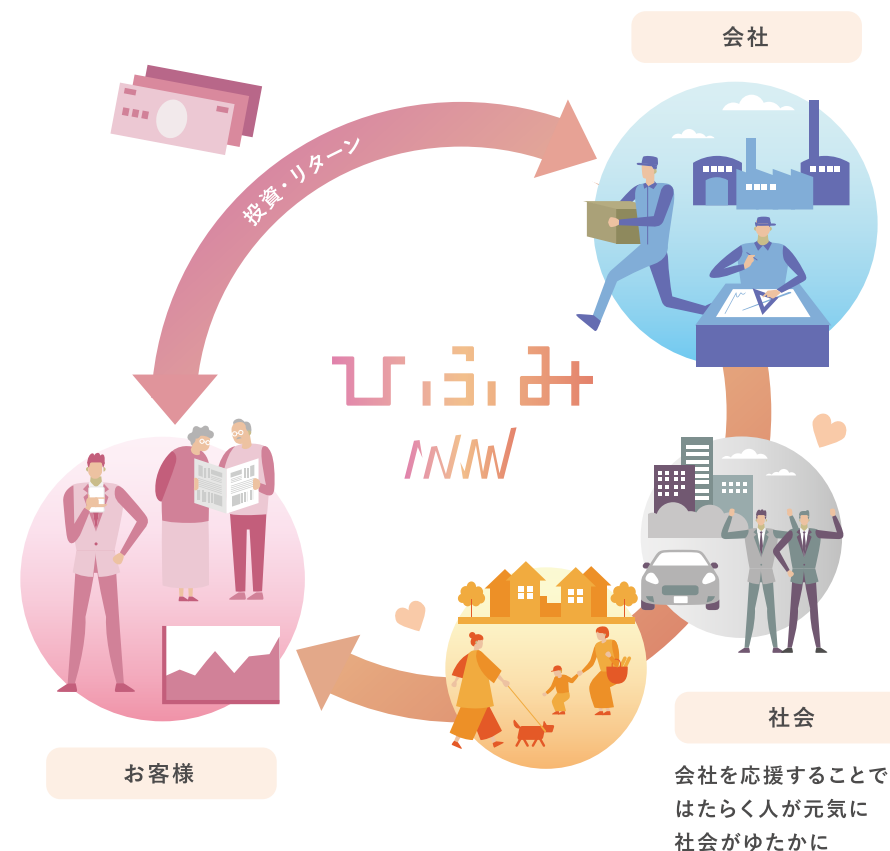
でも、それだけではありません。世の中に価値をもたらす成長企業に投資することは、長期的には私たちの未来をよりよくすることにつながります。それぞれの会社が成長することで、社会もよりカラフルに、元気になっていく。それは嬉しいことですよね。投資とは、素敵な経済活動なのです。

ひふみプラスのお客様と一緒に、この幸せな循環をつくりだしていきたい。それが私たちの願いです。

レオス・キャピタルワークス株式会社  
代表取締役 会長兼社長・最高投資責任者 (CIO)  
ひふみプラス ファンドマネージャー  
藤野 英人

<プロフィール>

1966年富山県生まれ。野村投資顧問（現 野村アセットマネジメント）、ジャーディン フレミング投信・投資顧問（現 JP モルガン・アセット・マネジメント）、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントにて、ファンドマネージャーを歴任。2003年レオス・キャピタルワークス創業。一般社団法人投資信託協会理事。



# ひふみプラス 3つの特長

ひふみプラスは、「日本を根っこから元気にする」をコンセプトに、主に日本の成長企業に投資する投資信託です。

私たちは銘柄の規模や業種、目先の実績にこだわりません。それぞれのスタイルで成長を遂げていく会社を組み合わせながら、株式市場の変化に柔軟に対応して投資・運用しています。

## 特長1 主に日本の成長企業に投資します

お客様からお預かりした資産を、主に日本の成長企業に投資することでお客様の長期的な資産形成を応援するとともに、日本の未来に貢献します。

※2023年3月末時点、一部海外株を組み入れています。

## 特長2 守りながらふやす運用に挑戦します

基準価額の上下動に伴うお客様のハラハラ、ドキドキ感をできるだけ軽減し、かつ着実なリターンを目指した「守りながらふやす」運用に挑戦します。

## 特長3 顔が見える運用

業界に先駆けて、ファンドマネージャーやアナリストの「顔が見える運用」を取り入れ信頼の向上を目指しています。

# ひふみ ブランドコンセプト

ブランドコンセプト  
詳細はこちら



※これより先はレオス・キャピタルワークスのWebサイトになります



ひふみシリーズのブランドメッセージは、「次のゆたかさの、まんなかへ」です。

ひふみが皆様にとって、一人ひとり夢や希望へ向かっていく「まんなか」のチカラになれるように。そして、会社と皆様をつなぐ役割としても、ひふみが「まんなか」になり、社会を元気にしていきますように。そんな想いが込められています。

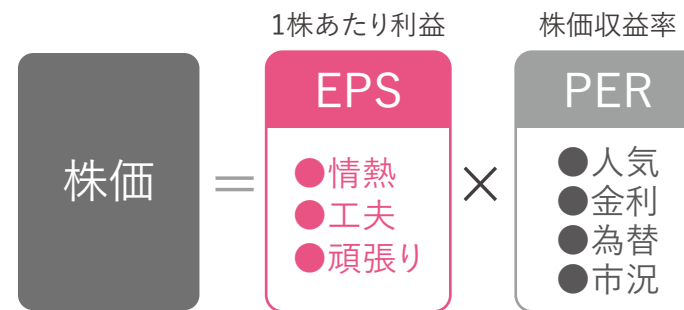
シンボルマークにはひふみと読める漢字「一二三」の文字を使い、鼓動や躍動感を思わせるデザインに。ロゴにも採用したグラデーションカラーは、ひふみが大切にしている価値観を意図しています。

# 特長 1

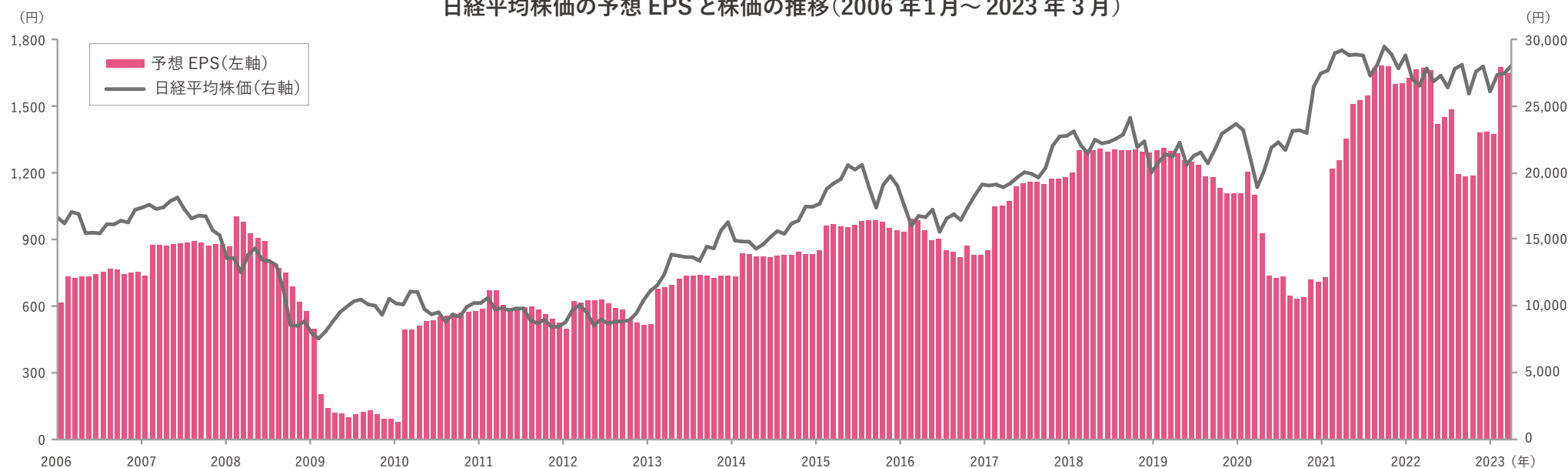
# 主に日本の成長企業に投資します

## EPSに着目して成長企業を発掘しています

株価は1株あたりの利益（EPS）と株価収益率（PER）の積で求めることができます。当社では、1株あたりの利益（EPS）を企業の経営者や従業員の「情熱」「工夫」「頑張り」と捉えており、短期的な市況や人気など（PER）に左右されず、本質的な力を持っているか、長期的に成長する企業なのかを見極める際の重要な指標と考えています。1株あたりの利益（EPS）が高い企業は利益を上げる会社であり企業の成長性と株価は相関する、といえるのです。



日経平均株価の予想 EPS と株価の推移 (2006年1月～2023年3月)

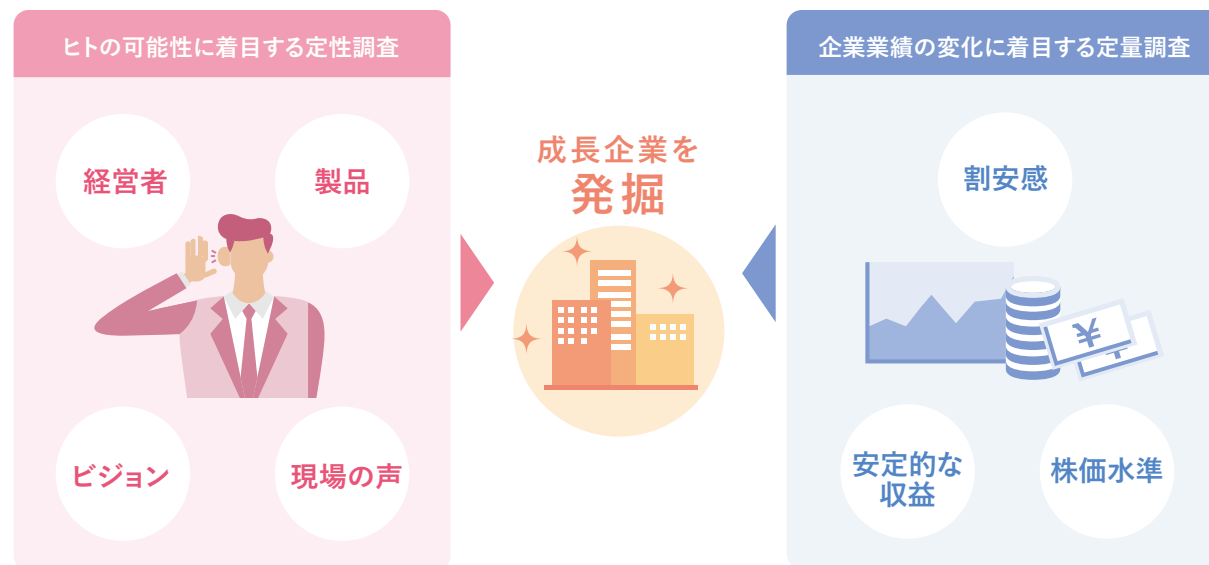


出所：Bloomberg 掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。  
 ※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

# 足で稼いだ情報で成長企業を発掘

投資する企業を見つけるためには、定量（企業業績の変化、株価水準、割安性など）と定性（経営の質、競争力、現場の活気など）の両面から、徹底的な調査・分析を行なっています。

コロナ禍では積極的に電話取材やWebミーティングなどを活用した調査を行なってきましたが、現場取材も再開しています。現場で直接企業を取材できる環境が復活したことで、取材先の熱意や実際の雰囲気を感じることができ、さらに深みのあるディスカッションが可能となりました。



会社は「人」でできています。調査では経営者や現場のスタッフとの対話を大切にしています。



あまり知られていなくても、元気で希望に満ちて、尊敬できる会社はさまざまな分野で活躍しています。



運用メンバー全員で議論を尽くして、投資先を選んでいます。

# 独自のリサーチ体制で成長企業を発掘

レオスの調査体制はアナリストに担当セクターを設けない独自のリサーチ体制を取っています。業界・会社の規模に捉われず、アナリストが自由に調査を進めることで成長企業を発掘に繋がると考えているからです。自由度の高いリサーチ体制によって、全世界50,000社以上の上場企業の中から常に時代に合った成長企業を発掘します。

## 🔍 調査事例を教えてください。

### ニュースや新聞の情報だけでなく、日々の気づきを大切にしています。

コロナ禍で在宅勤務が続き家で過ごすことが多くなりました。そんな中、近所に住んでいるおじいちゃんおばあちゃんの家に、毎日お昼頃バイクが止まっていることを発見。バイクに書かれた文字を見てみると、高齢者向け宅配弁当サービスを利用していました。これをきっかけに調査を行ない、高齢化が進む日本社会において食のインフラとしての高齢者宅配サービス市場の成長性を感じ、シルバーライフ(9262)の推奨に至りました。日々の何気ない出来事も、銘柄発掘という切り口で見ると、違った世界が見えてくるかもしれません。



※組入銘柄は市場動向により変化します。 ※今後も当社が当該銘柄に投資することを保証するものではありません。

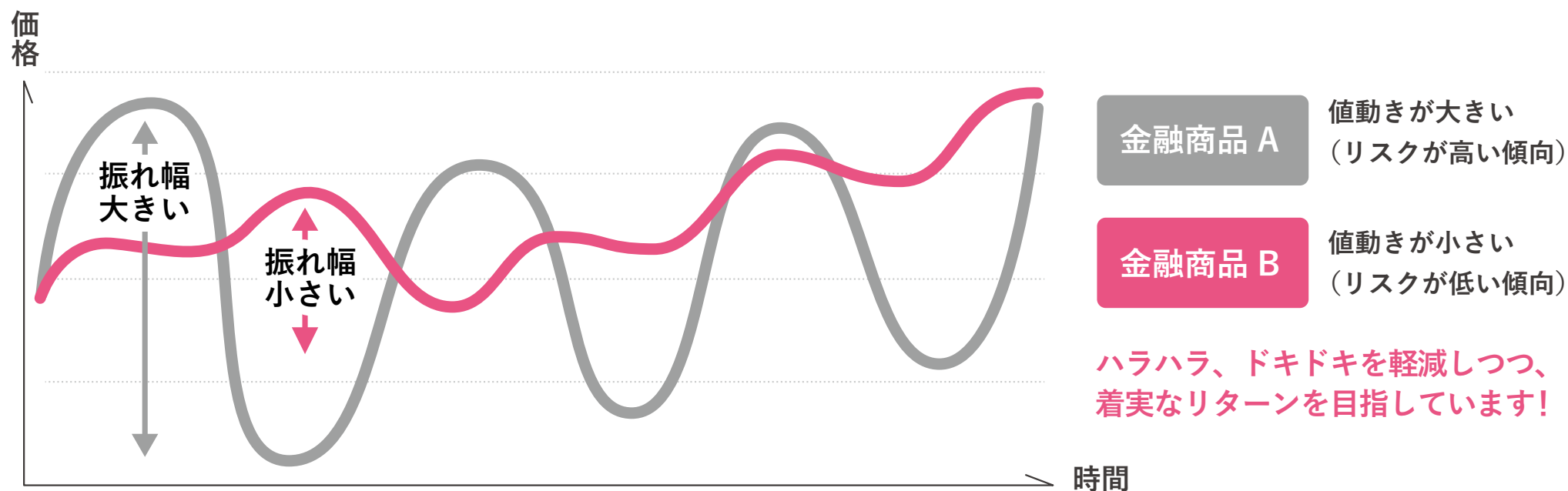
※当該銘柄への投資を推奨、勧誘するものではありません。

## 「守りながらふやす運用」に挑戦します

## ハラハラ、ドキドキ感を少しでも軽減する

ひふみプラスでは、お客様に安心して長期保有していただける投資信託を目指しています。同じリターンを上げたとしても、価格変動の幅を示すリスクが高い商品(金融商品A)ではなく、よりリスクを抑えた商品(金融商品B)を目指し、基準価額の変動によるお客様のハラハラ、ドキドキ感を少しでも軽減することに挑戦しています。

リスクとは「結果が不確実であること」を意味します。具体的には、リターン(収益)の振れ幅のことを指します。危険という意味ではありません。

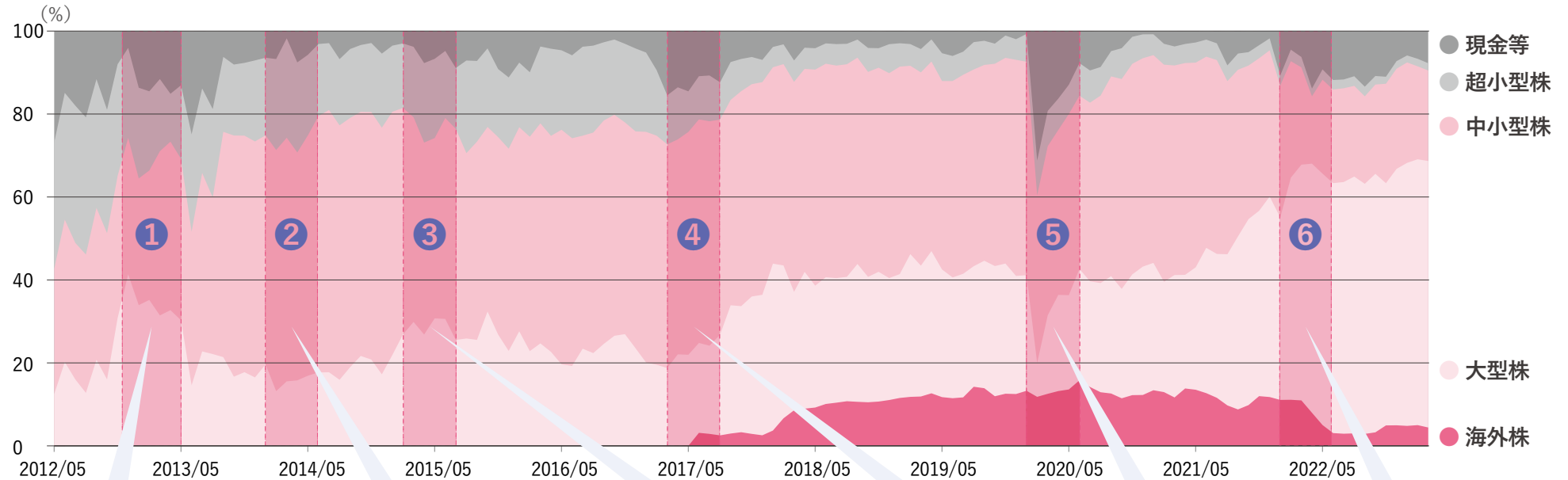


※上記はイメージ図であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

# 株式市場の変化に柔軟に対応しています

世界情勢や経済の変化に対応し、保有する株式の比率を柔軟に変化させることは、ひふみプラスの大きな特徴でもあります。業種や企業規模にとらわれることなく、臨機応変に組入銘柄を入れ替えて「守りながらふやす」運用を目指しています。

<ひふみ投信マザーファンドの時価総額別構成比率の推移> ひふみプラスはファミリーファンド方式でひふみ投信マザーファンドにて運用しています。



## ① 第2次安倍内閣発足

円安・外需・大型株・株高へと相場動向が一変する中で、大型株の保有比率を高める。

## ② 世界の景気減速懸念が広がる

大型・中小型・超小型株といったカテゴリーを問わず、マクロ経済環境に左右されにくい独自要因で業績をあげられる銘柄の比率を上昇。

## ③ 大型株主導の株式相場

日本銀行や公的年金等の資金流入期待を背景に、日経平均株価上昇。大型・中小型・超小型株のバランスを意識したポートフォリオに。

## ④ 地政学的リスクの顕在化

北朝鮮問題などで顕在化し始めた地政学的リスクに備えて現金等の比率を上昇。

## ⑤ 新型コロナウイルス感染拡大

新型コロナウイルス感染拡大による不確実性リスクに備え、現金等の比率を上昇。

## ⑥ 物価上昇による米金融政策転換の影響

インフレによる相場状況の変化に対応するため、大型株の比率を上昇。

期間：2012年5月末～2023年3月末

ひふみ投信マザーファンドの月末時点の純資産総額を100%として計算。

時価総額300億円未満を超小型株、時価総額300億円～3,000億円未満を中小型株、時価総額3,000億円以上を大型株と定義。なお「海外株」には海外投資証券が含まれます。



# 多様な価値観を内包するポートフォリオ

ひふみプラスはさまざまな業種・規模の会社に分散投資をしながらポートフォリオを構築しています。特定のテーマに集中投資をした場合、テーマが好調の時は市場で大きく勝てますが、不調の時は価格変動リスクを抑えることが難しいのです。

一方、分散投資をすることで、あるテーマの価格が市場全体で落ち込んだとしても、ポートフォリオ全体で価格変動のリスクをカバーすることができます。例えば、IT企業など成長企業の王道のような銘柄から、地味で地道に収益をあげる銘柄まで、さまざまな価値観を組み入れることで、“変化に強いファンド”を目指しています。

## ひふみの「火風水土心」哲学

「ひふみ投信」という商品名の隠れた由来に「火風水土心」があります。

古代ギリシャ時代から、万物は火・風・水・土という4元素から成り立っているという思想があります。

そこに人間の「心」を足して世界となす、というようなオリジナルのフレームワークで、ひふみの銘柄選択、ポートフォリオの価値観を表しているのです。



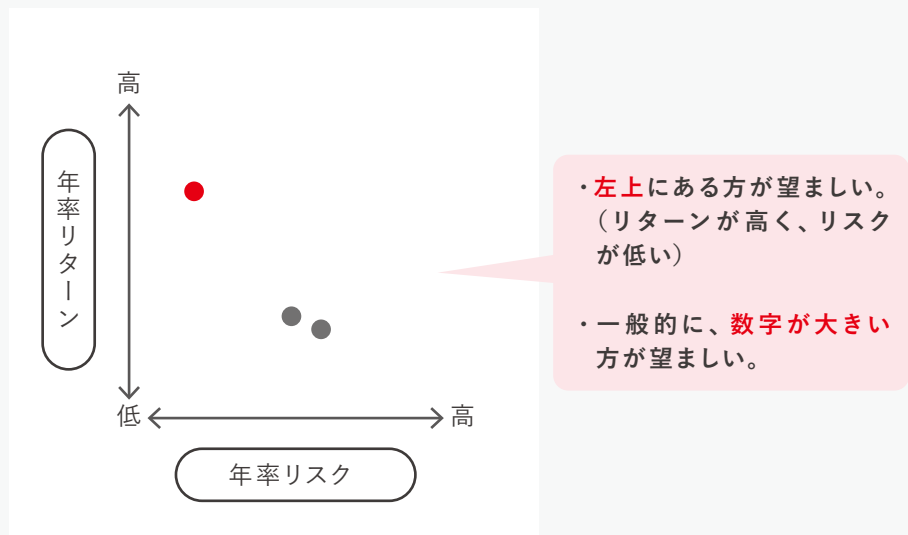
- 火** 攻め 勢いのある成長企業
- 風** 変化 トレンド、テーマ性のある企業
- 水** 守り ディフェンシブ、割安株
- 土** 安定 地味で地道、地方の中小型株
- 心** 銘柄選択の根本思想であり、公明正大に事業を行なっている会社かどうかを見定めること（ESGやSDGsの概念も含まれる）

# リターンはより高く、リスクはより小さく

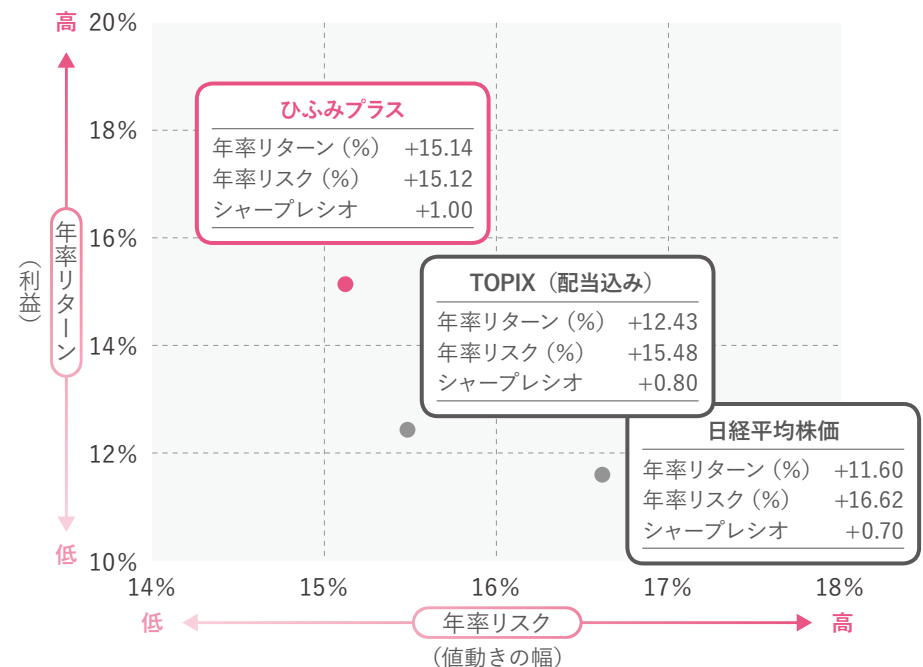
ひふみプラスが目指している「守りながらふやす運用」は、価格変動の幅を示すリスクを抑え、そして長期的にリターンを得られることが大切だと考えます。このことを数値で把握するには、「シャープレシオ」という指標があります。

シャープレシオとは？ = 
$$\frac{\text{年率リターン} - \text{無リスク資産の年率リターン}}{\text{年率リスク}}$$

シャープレシオとは投資信託を選ぶときの指標のひとつです。投資のリスク（価格変動）の大きさに比べてどれだけリターン（収益率）を得られたか、運用効率の高さを示します。



## 優れたリスク・リターン (相対的にリスクが低く、リターンが高い)



期間：2012年5月末～2023年3月末（設定日が月中の為、設定月末を起点として算出）  
 年率リターン：上記期間の累積リターンの年率換算値。  
 年率リスク：各月リターンの標準偏差の年率換算値。  
 シャープレシオ：年率リターンから無リスク資産の年率リターンを引き、年率リスクで除したものの、ひふみプラスはベンチマークを設けておりませんが、TOPIX(配当込み)と日経平均株価を参考のため表示しております。  
 ※TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPM総研または株式会社JPM総研の関連会社(以下「JPM」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPMが有します。JPMは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPMにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPMは責任を負いません。日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。  
 出所：Bloomberg等掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

# ひふみプラス 特長 3

## 顔が見える運用

長期的なお付き合いにおいて、できる限りお客様に安心感を持っていただきたいと考えています。さまざまな情報発信で、大切なお金をお預かりしている運用メンバーの顔が見える機会を多くご用意しています。

### ひふみアカデミー(月次運用報告会)

毎月更新

運用責任者より当社運用ファンドの運用状況のご報告をするともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明いたします。

※ひふみプラスについてはマザーファンドである「ひふみ投信マザーファンド」の運用状況についてご説明いたします。当社 YouTube 公式チャンネルにて動画配信され、過去の動画も閲覧が可能となっています。



### 月次レポート(月次運用報告書)

毎月更新

毎月、運用状況ならびに、市場環境の見通しについてコメントを掲載しております。また、トピックを用意して運用メンバーの多様な考えや価値観をお届けします。新しい視点の一助となれば幸いです。

### ひふみアニュアルミーティング

お客様への運用のご報告会として、年に一度開催しております。運用者より1年間をどのように運用したか、これからの戦略についてお伝えいたします。

その他さまざまなコンテンツをご用意しております。当社公式 HP、YouTube チャンネルをぜひご覧ください。

ひふみプラス 商品サイト



※これより先はレオス・キャピタルワークスのWebサイトになります

SNS



### ひふみ運用メンバー

※ひふみプラスの運用責任者は藤野英人、運用担当者は佐々木靖人、韋珊珊です。  
※運用メンバーは2023年4月末現在となります。

最高投資責任者(CIO)  
ひふみの運用統括  
ふじの ひでと  
藤野 英人



#### 株式戦略部



わたなべしょうた  
渡邊 庄太



ささき やすと  
佐々木 靖人



ウェイ・シャンシャン  
韋 珊珊



やつお ひさし  
八尾 尚志



たかはしりょう  
高橋 亮



せのおまさなお  
妹尾 昌直



おおしろ しんjarou  
大城 真太郎



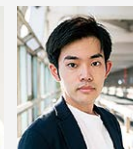
ないどうまこと  
内藤 誠



もりやま はるき  
森山 治紀



かわさき さつき  
川崎 さつき



まつもとりょうが  
松本 凌佳

※未来戦略部と兼任

#### 債券戦略部



ふくむろ みつお  
福室 光生



ちば としのぶ  
千葉 俊信



たかはたけ みきよ  
高島 幹夫



ほんま ゆうき  
本間 雄揮

#### 未来戦略部



ゆあさ みつひろ  
湯浅 光裕



おかだたいすけ  
岡田 泰輔

#### 経済調査室



みやけ かずひろ  
三宅 一弘



はしもと ゆういち  
橋本 裕一

運用メンバーの  
インタビューはこちら▶

レオス・キャピタルワークスの  
Webサイトに遷移します



# お金や投資について幅広く発信中



YouTubeチャンネル

## レオス・キャピタルワークス【投資信託「ひふみ」公式】

運用状況や市況、経済などをわかりやすく解説したり、当社のさまざまなセミナーなどを配信しているチャンネルです。



### ひふみアカデミー

毎月開催される月次運用報告会の模様を配信。

※ひふみプラスについてはマザーファンドである「ひふみ投資マザーファンド」の運用状況についてご説明いたします。



### レオスの市況解説

毎営業日、当社のトレーディング部よりその日の市況について解説。



### 三宅の目

隔週更新で経済調査室長の三宅が直近マーケットの振り返りと今後のマーケットの注目点を解説。

動画のご視聴はこちら



※これより先はYouTubeのサイトになります



YouTubeチャンネル

## お金のまなびば!

お金に対する考え方や、投資、経済について、わかりやすく楽しく学んでいただけるチャンネルを2021年新設しました。



「老後2,000万円問題」、コロナ禍での投資熱の高まりなど、今投資に対して多くの人たちの目が注がれています。しかし、海外と比べて日本はお金について勉強する機会が少なく、「投資」に対して良いイメージを抱いていない人が多いのも事実です。このチャンネルでは、お金や投資、経済に対する疑問・考え方について、さまざまなゲストをお迎えして対談したり、掘り下げて考える動画を配信しています。

動画のご視聴はこちら



※これより先はYouTubeのサイトになります

# ひふみ投信マザーファンド ポートフォリオ

当資料の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。  
また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金を考慮していません。

## 多様な価値観の銘柄に分散投資

ひふみプラスはファミリーファンド方式でひふみ投信マザーファンドにて運用しています。

ひふみ投信マザーファンドの中で多くの銘柄に投資することで分散投資をしているともいえますし、ある銘柄が大きく値上がりしても基準価額へのインパクトは出にくい一方で、1銘柄の株価が大きく下がっても基準価額への影響も少なくなっています。

### ■保有上位10銘柄 計291銘柄

No.	銘柄コード	銘柄名	構成比率
1	6857	アドバンテスト	3.13%
2	6758	ソニーグループ	2.00%
3	6146	ディスコ	1.80%
4	9432	日本電信電話	1.78%
5	8766	東京海上ホールディングス	1.74%
6	3774	インターネットイニシアティブ	1.70%
7	3769	GMOペイメントゲートウェイ	1.65%
8	2802	味の素	1.63%
9	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.56%
10	8001	伊藤忠商事	1.53%

### ■各種構成比

資産配分比率		市場別比率	
国内株式	87.83%	プライム市場	85.57%
海外株式	4.43%	スタンダード市場	1.86%
現金等	7.74%	グロース市場	0.40%
		その他海外株	4.43%
		現金等	7.74%
時価総額別比率			
大型株	68.68%	内需 / 外需	
中小型株	21.83%	内需	53.02%
超小型株	1.75%	外需	39.24%
現金等	7.74%	現金等	7.74%

※上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

2023年3月末現在

ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する構成比率

大型株：時価総額3,000億円以上

中小型株：時価総額300億円～3,000億円未満

超小型株：時価総額300億円未満

「市場別比率」については、海外株式を「その他海外株」として表示しています。

表記の値については小数点第3位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

「内需 / 外需」の分類は当社運用本部基準に拠ります。

# ファンド運用実績

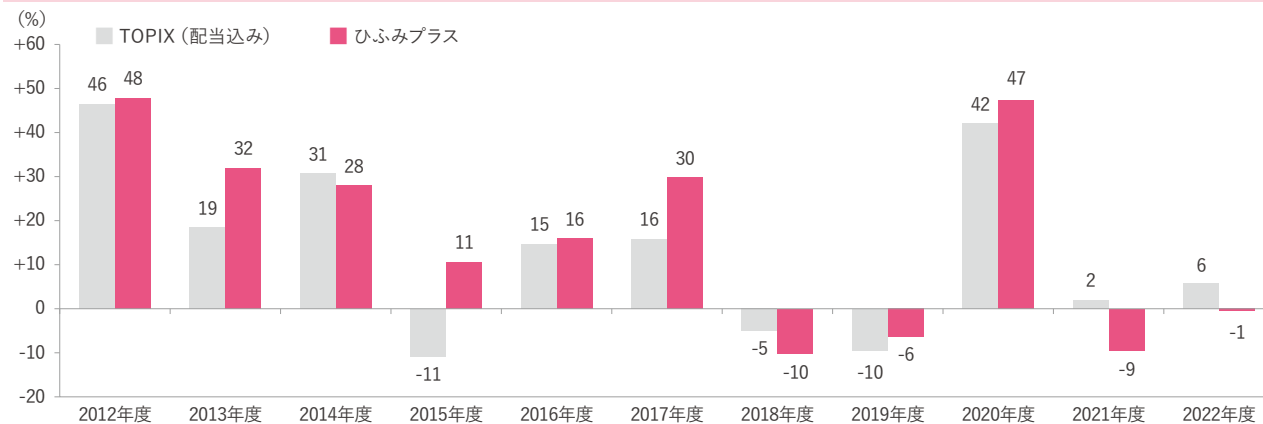
当資料の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。  
また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金を考慮していません。

## ひふみプラス 設定来運用実績



ひふみプラス設定前営業日の2012年5月25日の基準価額を10,000円として指数化し、2023年3月末まで表示。ベンチマークを設けておりませんが、TOPIX(配当込み)を参考のため表示しております。

## ひふみプラス 年度別収益率



期間：2012年5月28日～2023年3月末（2012年度：2012年5月28日～2013年3月末）

小数点第1位を四捨五入して表示しています。レオス・キャピタルワークス作成。当運用は、株式組入比率50%超～100%の変動型運用です。ベンチマークを設けておりませんが、TOPIX(配当込み)を参考のため表示しております。

※TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。



# 投資先事例

## GMOペイメントゲートウェイ (3769)

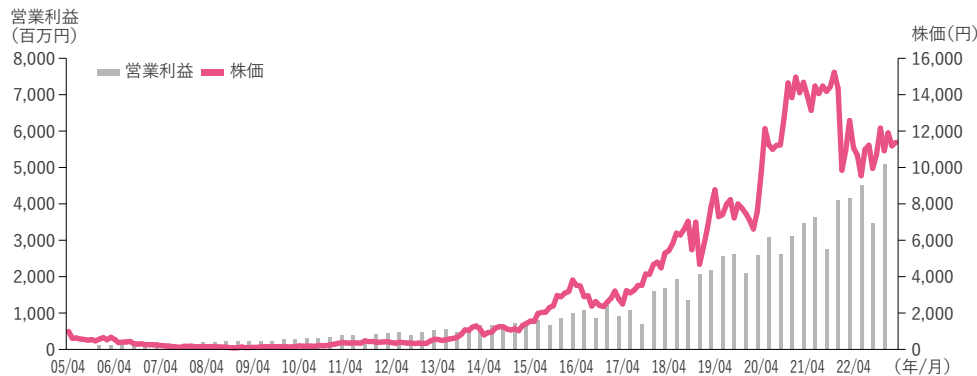
### ■ 会社紹介

GMOインターネットグループの子会社で決済処理代行の業界大手企業です。消費者や法人が現金、クレジットカード、キャッシュレス決済などで決済する際の、電子決済インフラを提供しています。同社のインフラを利用する企業は、大手ECサイトをはじめ、多種公共サービス(電気、ガス、水道、税金)などの支払いシーンに利用されています。



### ■ 投資視点

多くの主要先進国では消費者購買行動は対面決済でも電子決済利用が普及していますが、日本では未だ現金比率が高い状況にあります。また非対面(ECサイト)購買の利用率も同比較でも劣後しています。コロナ禍でキャッシュレス決済やECサイト利用は一般化しつつあり、本格的な成長フェーズに入ったと見えます。年間利益成長率2割を掲げ、毎年達成してきた実績も評価しています。



※株価は上場来～2023年3月末。株価は月末終値。営業利益は四半期ごとの値を各四半期末に表示。  
※各種データに基づきレオス・キャピタルワークス作成。個別銘柄を推奨するものではありません。当社ファンドの組入等を必ずしも約束するものではありません。  
※旧LITALICO(証券コード6187)は、株式交換による組織再編に伴い、2021年4月1日付で現LITALICO(証券コード7366)にてテクニカル上場しております。  
※LITALICO(7366)は2021年9月30日付で1:2の株式分割をしています。  
※コメントについては作成日時点の情報になります。  
※写真はイメージです。

## リタリコ LITALICO (7366)

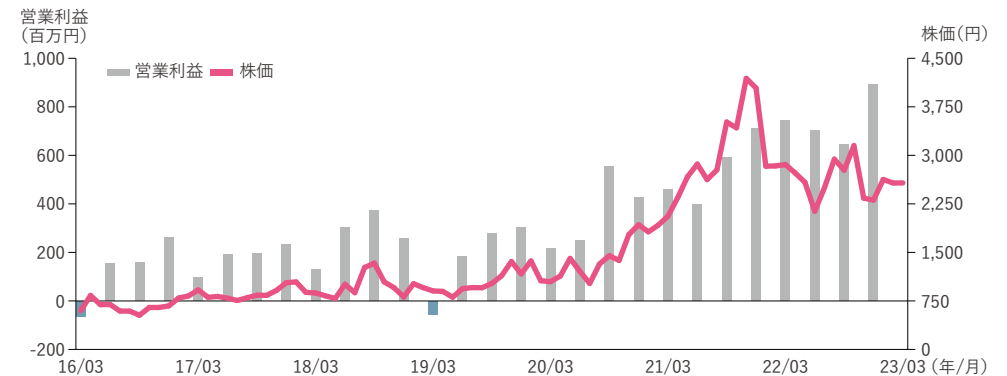
### ■ 会社紹介

LITALICOは障がいのある方に対して就労支援サービスを提供しています。障害者総合支援法に基づき、精神障がいを抱えている人が就業できるようにサポートする「就業移行支援」と、就業後も長く働けるようにサポートする「就労継続支援」を展開しています。また、成人のみならず発達障がいの子供を中心とした学習塾や幼児教室の運営なども行なっています。



### ■ 投資視点

企業の障がい者法定雇用率の継続的な引き上げなどを背景に、身体障がいだけでなく精神障がいがある方の採用競争が激化することが考えられます。そのような流れの中で、精神障がいのある方向けの支援サービスに強みを持つLITALICOは、成長を継続・加速させることができる可能性があると考えています。

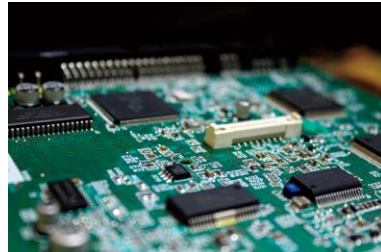


# 投資先事例

## トリケミカル研究所 (4369)

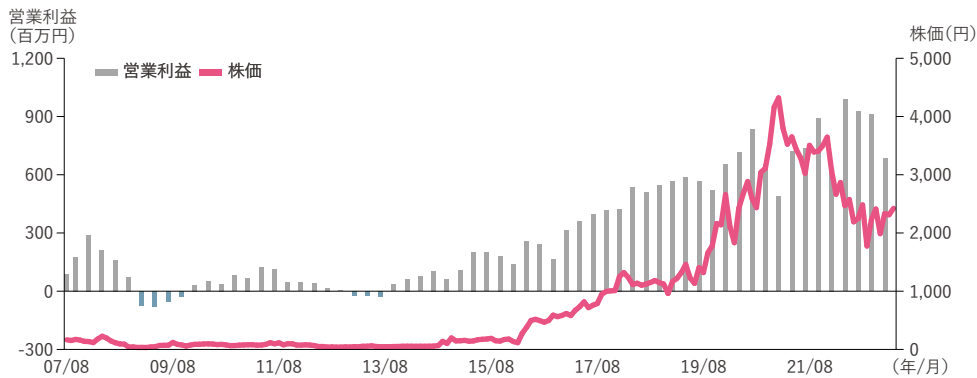
### ■ 会社紹介

トリケミカルは、半導体や太陽電池、光ファイバーの製造に必要な高純度化学材料を提供するメーカーで、低誘電率の絶縁膜材料では世界トップクラスの商品競争力を持っています。



### ■ 投資視点

トリケミカルの製品は同業大手が参入しにくい多品種少量生産が特徴です。近年は、スマホやサーバー等に用いられる微細な電子回路をもつ高性能半導体に不可欠な化学材料を高シェアに供給しています。5G通信、遠隔医療、テレワーク、テレビ会議など、刻々と変化する次世代のITインフラの基盤として、最先端の半導体は欠かせないものとなる中、必要不可欠な高純度化学材料を安定供給できるメーカーは限られています。



※株価は上場来～2023年3月末。株価は月末終値。営業利益は四半期ごとの値を各四半期末に表示。  
※各種データに基づきレオス・キャピタルワークス作成。個別銘柄を推奨するものではありません。当社ファンドの組入等を必ずしも約束するものではありません。  
※コメントについては作成日時点の情報になります。  
※写真はイメージです。

## コルテバ CORTEVA, Inc. (CTVA)

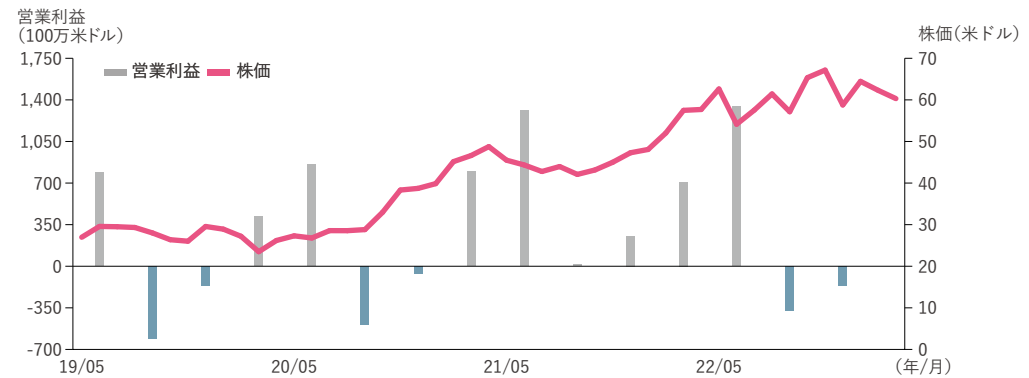
### ■ 会社紹介

ダウ・デュポン社の農業関連部門としてスピノフした、主に種子や農薬の開発や販売を手掛けているリーディングカンパニーです。種子事業では遺伝子組換えを含めたトウモロコシや大豆、農薬事業では大豆、野菜や果物、穀物など多岐に渡ります。売上の約半分は北米地域ですが、南米やその他地域でも順調に伸びています。



### ■ 投資視点

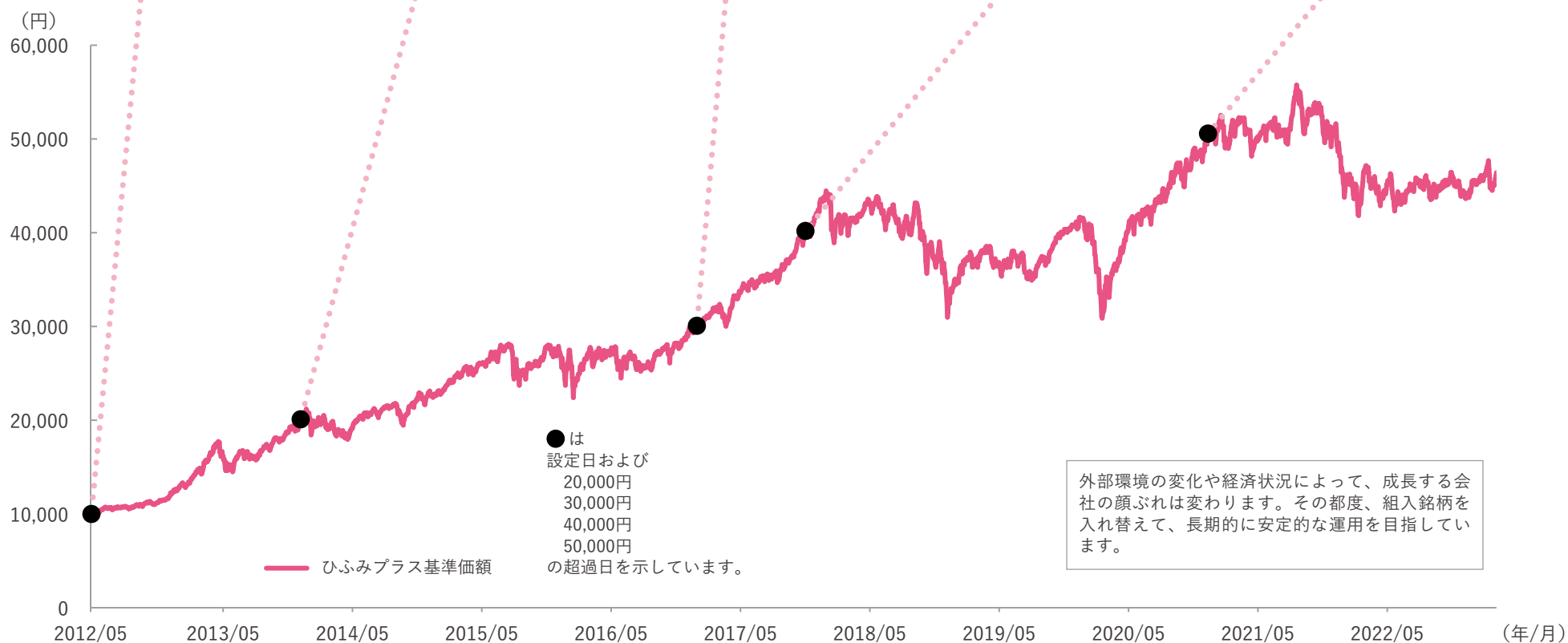
世界人口の増加が続いている一方で、農地の拡大は追いついていないため、生産性の向上が不可欠です。種子や農薬市場はここ数年寡占化が進み、IP(知的財産)の保護は各国でより厳格化されています。同社は豊富な開発パイプラインを保有しており、今後さらに高付加価値な商品にフォーカスするため、単価やロイヤリティ収入などの増加が見込まれます。





# 成長を追求するひふみプラス

※設定日(2012年5月28日)の基準価額 (10,000円)			※基準価額が最初に20,000円を超えたのは 2014年1月6日(20,099円)			※基準価額が最初に30,000円を超えたのは 2017年1月26日(30,075円)			※基準価額が最初に40,000円を超えたのは 2017年11月22日(40,192円)			※基準価額が最初に50,000円を超えたのは 2021年1月8日(50,576円)		
2012年5月末時点のポートフォリオ(組入上位5銘柄)			2014年1月末時点のポートフォリオ(組入上位5銘柄)			2017年1月末時点のポートフォリオ(組入上位5銘柄)			2017年11月末時点のポートフォリオ(組入上位5銘柄)			2021年1月末時点のポートフォリオ(組入上位5銘柄)		
No.	銘柄コード	銘柄名	No.	銘柄コード	銘柄名	No.	銘柄コード	銘柄名	No.	銘柄コード	銘柄名	No.	銘柄コード	銘柄名
1	4666	パーク24	1	3769	GMOペイメントゲートウェイ	1	3076	あいホールディングス	1	8439	東京センチュリー	1	BILI	BILIBILI INC ADR
2	2157	コシダカホールディングス	2	2181	テンブホールディングス	2	3769	GMOペイメントゲートウェイ	2	9616	共立メンテナンス	2	8439	東京センチュリー
3	7777	スリー・ディー・マトリックス	3	9107	川崎汽船	3	6875	メガチップス	3	3076	あいホールディングス	3	4485	JTOWER
4	4819	デジタルガレージ	4	7593	VTホールディングス	4	2427	アウトソーシング	4	6594	日本電産	4	6758	ソニー
5	9984	ソフトバンク	5	2445	エスアールジータカミヤ	5	6856	堀場製作所	5	4023	クレハ	5	6981	村田製作所



期間：2012年5月28日～2023年3月末

当資料の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。

## 経営理念

### 『資本市場を通じて社会に貢献します』

わたしたちは、よりよい社会をつくるための  
“流れ”(レオス)を興したいと願っています。

社名	レオス・キャピタルワークス株式会社 Rheos Capital Works Inc.
設立	2003年4月16日
本社所在地	東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内27F
資本金	3億13百万円(2023年4月末現在)
事業内容	投資運用業 投資助言・代理業 第二種金融商品取引業
役員数	130名(2023年3月末現在)
運用資産	1兆1,443億79百万円 運用助言含む(2023年3月末現在)



## レオス・キャピタルワークス 社名の由来

「レオス」とは古代ギリシャ語で「流れ」という意味の言葉です。日本にある人財・資本・知恵・技術などたくさんの資産「キャピタル」の「流れ」をつくる工房「ワークス」でありたいという想いが込められています。



# 投資リスクについて

- ・「ひふみプラス」は、ひふみ投信マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- ・投資信託は預金等とは異なります。

## 主な投資リスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。

## カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)

当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場(新興国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- ・「ひふみプラス」のお取引において、金融商品取引法第 37 条の 6 に規定された「書面による契約の解除」(クーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ファンドの流動性リスクに関する事項
  - 一時に多額の解約があり資金を手当てするために保有資産を大量に売却しなければならない場合や、取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額が低下し損失を被る可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・投資対象とするひふみ投信マザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、「ひふみプラス」の基準価額に影響を及ぼす場合があります。

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。**投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。**
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## お申込みメモ

信託期間	無期限(2012年5月28日設定) ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。
決算日	毎年9月30日(休業日の場合には、翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算時に、原則として、次の方針に基づき分配を行いません。分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合には、収益分配金は税引き後に無手数料で再投資されます。なお、お取り扱い可能なコースおよびコース名については販売会社によって異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口あたり)
購入単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口あたり)
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
換金制限	「ひふみプラス」の残高、市場の流動性の状況等によっては、委託会社の判断により換金の金額に制限を設ける場合や換金のご請求の受付時間に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申込みの受け付けを取り消す場合があります。
繰上償還	信託契約の一部解約により受益権の口数が5億口を下回った場合またはこの信託契約を解約することがお客様(受益者)のために有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、この信託契約を解約し、信託を終了させる場合があります。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## ファンドの費用

### お客様に直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	申込金額に対する手数料率は <b>3.30%(税抜き3.00%)</b> を上限として、販売会社が定める料率とします。 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として販売会社にお支払いいただきます。「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。なお、お取り扱い可能なコースおよびコース名については販売会社によって異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	<b>ありません。</b>

### お客様に信託財産から間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬)	<p>信託財産の純資産総額に対して<b>下記に記載の年率</b>を乗じて得た額。信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみプラス」の信託財産から支払われます。また、ひふみプラスは、純資産総額が一定金額に達すると、一定金額を超えた部分に対して信託報酬が減減される仕組みとなっています。運用管理費用の配分(上段は年率、下段は税抜年率です。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">純資産総額</th> <th>委託会社</th> <th>販売会社</th> <th>受託会社</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>(ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価)</th> <th>(運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価)</th> <th>(運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行の対価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500億円まで</td> <td>0.5005% (0.4550%)</td> <td>0.5005% (0.4550%)</td> <td>0.0770% (0.0700%)</td> <td><b>1.0780%</b> <b>(0.9800%)</b></td> </tr> <tr> <td>500億円を超える部分</td> <td>0.4455% (0.4050%)</td> <td>0.4455% (0.4050%)</td> <td>0.0770% (0.0700%)</td> <td><b>0.9680%</b> <b>(0.8800%)</b></td> </tr> <tr> <td>1,000億円を超える部分</td> <td>0.3905% (0.3550%)</td> <td>0.3905% (0.3550%)</td> <td>0.0770% (0.0700%)</td> <td><b>0.8580%</b> <b>(0.7800%)</b></td> </tr> </tbody> </table>				純資産総額	委託会社	販売会社	受託会社	合計	(ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価)	(運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価)	(運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行の対価)	500億円まで	0.5005% (0.4550%)	0.5005% (0.4550%)	0.0770% (0.0700%)	<b>1.0780%</b> <b>(0.9800%)</b>	500億円を超える部分	0.4455% (0.4050%)	0.4455% (0.4050%)	0.0770% (0.0700%)	<b>0.9680%</b> <b>(0.8800%)</b>	1,000億円を超える部分	0.3905% (0.3550%)	0.3905% (0.3550%)	0.0770% (0.0700%)	<b>0.8580%</b> <b>(0.7800%)</b>
純資産総額	委託会社	販売会社	受託会社	合計																							
	(ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価)	(運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価)	(運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行の対価)																								
500億円まで	0.5005% (0.4550%)	0.5005% (0.4550%)	0.0770% (0.0700%)	<b>1.0780%</b> <b>(0.9800%)</b>																							
500億円を超える部分	0.4455% (0.4050%)	0.4455% (0.4050%)	0.0770% (0.0700%)	<b>0.9680%</b> <b>(0.8800%)</b>																							
1,000億円を超える部分	0.3905% (0.3550%)	0.3905% (0.3550%)	0.0770% (0.0700%)	<b>0.8580%</b> <b>(0.7800%)</b>																							
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税抜年率0.0050%)以内を乗じて得た額とします。なお、監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。																										
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法を具体的に記載することはできません。																										

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。